

冬の節電・省エネ対策について

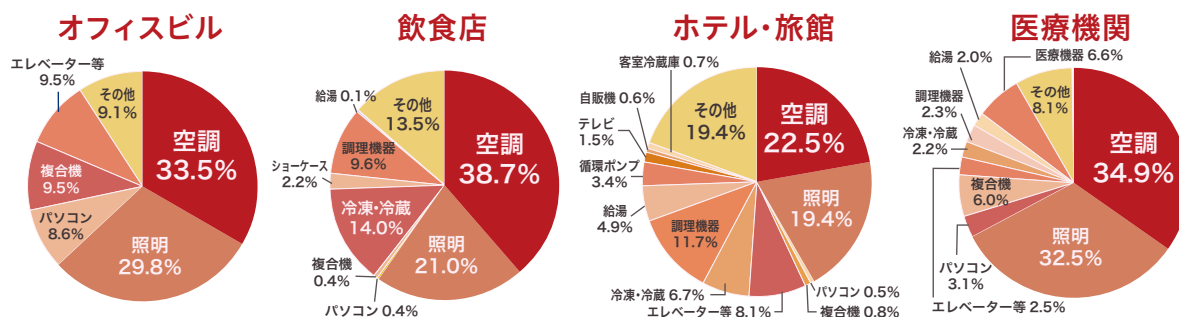


新型コロナウイルス感染症に関する規制緩和の進展により、経済活動も活発化し、電力需要は増加傾向にあります。今年の冬、中部エリアでは安定供給に必要な予備率3%を確保できる見通しとなっています。

しかしながら、想定を超える厳冬となった場合、電力需要が高まることも予想される上、エネルギー価格は不安定な状況が続いています。国からの節電要請はでていませんが、効率的なエネルギーの使用(省エネ)に努めてください。

冬季は空調設備の使用量が増加する季節です。

設備の占める電力比率(用途別電力消費比率)は下図の通りです。



冬季は空調設備の省エネが重要です 空調設備の省エネ対策

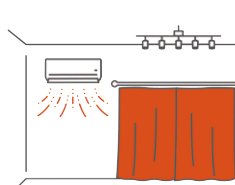
この冬は下記の空調設備の省エネ対策に取り組んでみましょう!!

湿度を40～60%程度に保つ



寒い時期は、湿度を保つことで体感温度が上がります。また、ウイルスなどの感染対策や予防のため、加湿器などを併用して、湿度を40～60%程度に保つことをおすすめします。

カーテンやブラインドの活用



カーテンやブラインドを活用することで、外からの冷気の流入や、熱が逃げてしまうことを防ぐことができます。また、換気時以外は窓やドアをきちんと閉めて、冷たい空気を部屋に入れないようにしましょう。

室外機のお手入れ



室外機に雪が直接吹き込むと、付着・凍結して暖房効率が下がります。風雪ガードや防雪フードを使って雪の付着を防ぐようにしましょう。

節電・省エネ機能の活用



最近は「節電・省エネ機能」がある空調機が増えてきました。その機能を使うことで省エネ効果が得られます。リモコンを確認してみましょう。

参考: 日立グローバルライフソリューションズ株式会社HP

見える化(デマンド管理)の最適ツール紹介

最大電力の抑制には、あらかじめ設定した目標電力を超過しそうになるとデマンドモニターでお知らせする「電力デマンド監視装置」がマストアイテムです。また、「電力デマンド監視装置」で計測したデータを活用し、電気の使い方を「見える化」して、節電対策の「気づき」を見つけることもできます。



電力デマンド監視装置

本件に関するお問い合わせは **中部電気保安協会 本店営業部 (052)955-0788** までお気軽にどうぞ!